



創立80周年を迎えて

代表幹事 伊藤 俊明

始めに、去る東日本大震災と福島原発の事故に被災されました会員とご家族のみなさまに、衷心よりお見舞いを申し上げます。あの直後、被災地の会員みなさまのご事情が案ぜられ、咄嗟に同窓会名簿から被災地の会員、約30名を選び出し次々とお電話を差し上げました。

幸い皆さまはご無事でしたが、ライフラインの断絶など、困窮の様子を語って頂きました。

お互いに見知らずの間柄でしたが、お見舞いと激励の一言に対して、揃って「御礼」のお言葉が返ってきました。思わず同窓のつながりを熱く胸に憶えた瞬間でした。

京大合唱団は、本年、創立80周年を迎えます。築100年の学生集会所(Box)は老朽化していますが、昔の佇まいのまま、今もなお、若者の青春を育み健やかな歌声を響かせています。

京大合唱団は、戦中戦後の苦難の時代を乗り越え、様々な時代の激動を背景に変貌を遂げてきました。幾世代を経た今、京大合唱団には昔の面影は遠く、澁刺とした学生合唱団に変容しました。しかし形態は変容しても、永久に生き続けるもの、それは手作りの歌声がつなぐ「共生」ではないでしょうか。そして同窓会は、その大きな「共生」の輪のように想います。

この度、創立80周年を迎えるに当り、記念行事を開催いたします。

来る9月3日(土)に催されます記念行事の日時や場所、演奏会、総会、懇親会などの詳細と参加申込要領は、後記をご参照ください。

「共生」の輪の中で歌い、そして聴き合い、懇親を深めながら、震災と原発の事故で閉塞した心のストレスを解き、癒しと希望と勇気を心に憶える記念行事にしたいと思っております。

どうか、一人でも多くの会員みなさまのご参加を切にお願い申し上げます。

同窓会 幹事立候補の呼びかけ

同窓会は会員数凡そ千数百名を擁し、漠然とした組織ではありますが、会員みなさまの世代を超えた交流や親睦の広場となることを願いつつ、今春まで会長以下10名の幹事で様々な活動を運営してまいりました。

本部の幹事会では、記念行事の企画・運営の他に、会員の動静把握と名簿の管理、会計管理、また年2回の同窓会通信の編集・発行を恒常的に行っております。そして最も大切なことは、更なる活性化や会員増強などのテーマについて、自由活発に意見を述べ合うことにあります。

ここで皆さまへのお呼びかけがございます。

永年ご奉仕をいただきました方々の世代交代や、個人のご事情により幹事を退かれる方が数名いらっしゃいます。相当数の減少となりますことから、是が非でも補充が必要となる事態に迫られております。今春以降、若干名の会員ご本人のご同意を得て、幹事へのご就任をお願い致しましたが、未だ充足するには至っておりません。

幹事のみなさまには、年に3回の幹事会にご出席いただくことと、多少のお仕事を分担して頂くこと他には大きなご負担はおかけ致しません。どうかこの事情をお察しいただき、幹事への立候補の要請・お呼びかけにお応えいただきますよう、お願い申し上げます。

お手続きは返信葉書にその旨お書きいただくか、kucdosokai@gmail.com をご利用ください。

6月末日までにご連絡いただきますようお願いいたします。

(代表幹事 伊藤俊明)

80周年記念行事プログラム

80周年記念行事の開催が近づいて参りました。当日のプログラムについて最新情報をお知らせします。

- ◆ 時 … 2011年9月3日(土)13:00~20:00
- ◆ 所 … **1**~**3** : 京都コンサートホール(小) 左京区下鴨半木町
(京都市営地下鉄烏丸線北山駅1番出口すぐ)
<http://www.kyoto-ongeibun.jp/kyotoconcerthall/>
- 4** : リーガロイヤルホテル京都 下京区東堀川通塩小路 Tel:975-341-1121
(JR京都駅と京都タワービルの間にある塩小通を西に徒歩5分堀川通を越えすぐ)
<http://www.rihga-kyoto.co.jp/index.htm>

1 同窓会合唱団演奏会

【開場12:30/開演13:00/終演14:50】

- ◆ 同窓会の2つの団体(京都・東京)と現団がステージを構成します。
 - I. 同窓会合唱団男声 学歌 南弘明「月下の一群」加藤文元(H3) (ピアノ)木下亜子
 - II. 同窓会合唱団女声 小林秀雄「落葉松」岡本慶子(S52) (ピアノ)木下亜子
 - III. 現 団 京大合唱団のステージ
 - IV. 東京洛友ハーモニー 珠玉の海外合唱曲集 鈴木誠二郎(S46) (ピアノ)大石和子
 - V. 同窓会合唱団混声 團伊玖磨「筑後川」上床博久(S44) (ピアノ)木下亜子
- アンコール (男声)琵琶湖周航の歌(太田茂之(H17)) (女声)サリマライズ
(混声)メンデルスゾーン緑の森よ はるかな友に(現団混声指揮者)

- ◆ チケット 1,000円
(同窓会合唱団・東京洛友ハーモニー、京都コンサートホールチケットセンターにて前売券を、または会場入口前受付デスクにて当日券をお求めください。)
- ◆ ちらしは同窓会HP <http://www.eonet.ne.jp/~kuc-dosokai/> にも掲載しています。

2 総 会

【15:05~15:55/司会:伊藤俊明(S35)】

3 特 別 イ ベ ン ト

【音源で綴る50年「合唱団CDライブラリ」/16:00~16:50】

- ◆ ライブラリ作成報告:吉田郷弘(S34)
 - ・ S29 男声 「月光とピエロ」(最古の音源)
 - ・ S35 女声 シューマン「はちすの花」
 - ・ S36 男声 父のゐる庭(初演)より駅前旅館(新発見音源)・紀の国
 - ・ S43 男声 グリーク「小鳩の祈り」
 - ・ S43 女声 コダイ「天使と羊飼い」
 - ・ S49 混声 地球は回るよ
 - ・ S56 混声 White Christmas
 - ・ H2 女声 「花に寄せて」より

4 懇 親 会

【18:00~20:00/リーガロイヤルホテル京都 2F】

- ◆ 司会 : 望月勝房(S43)、山下千之(S44)
- ◆ 会場 : 「朱雀」、CDライブラリ自由鑑賞「桔梗」 ◆ 参加費 : 1万円

懇親会ではつぎの愛唱歌を歌う予定です。現団とともに歌える曲を中心に選曲しました。

- (男声) 柳河・紀の国・富士山・12人の盗賊・ステンチェン
- (女声) サリマライズ・忘れなぐさ・花
- (混声) 十の詩曲「歌」・バラード・祝えこの日・はるかな友に ほか

※ これまで同窓会活動の中で出版された楽譜ピースを各自ご持参ください。



80周年記念行事の参加要領など

1. 80周年記念行事への参加申込

参加申込はつぎの2つのルートで行うことができます(返送期限7月1日)。

- ① 同封の返信葉書
必要事項を記入のうえ50円切手を貼って返送願います。
- ② 同窓会のメールkucdosokai@gmail.com
つぎの項目に記入し送信願います。

2011年9月3日(土)京大合唱団80周年記念行事参加申込

- ・演奏会(出演()聴衆()) ・総会() ・懇親会() **参加に○印**
- ・懇親会参加費の払込予定日 : ○月○日
- ・卒団年() ・パート() ・会員名()
- ・連絡欄(幹事立候補 など)

ご家族で複数の会員がおられる場合、必要事項を並記してください。

次期幹事への立候補については、返信葉書・メールの連絡欄にその旨ご記入ください。



2. 懇親会参加費の払込

懇親会参加費は一人1万円です。

口座記号番号:00970-9-144011、口座名称:梅原節子と印刷された青色の払込取扱票に、払込金額・住所・名前・卒団年を記入し、開催日の10日前に当たる8月24日までにお支払いください。

郵政公社の払込みは、払込票挿入口のあるATMでも行えます。

土・日・休日も利用可能で、取扱時間も窓口より延長されており、手数料も窓口120円に対し80円と割安です。

※ この払込には演奏会チケット代を含めないでください。

■ 懇親会参加のキャンセルについて

懇親会参加費払込後のキャンセルについては、開催日の4日前に当たる8月30日までにご連絡頂いた場合のみ受け付けます。つぎにご連絡ください。

(広報・企画担当)石動正和(S48) Tel:090-2047-7757 isurugi@pp.iij4u.or.jp

このとき払込額は原則年会費に振替処理をさせていただきますのでご了承をお願いします。なお77歳までの年会費を完納されその後の会費を無料とされている会員のキャンセルについては個別に対応します。

3. 演奏会のチケットの入手

演奏会のチケットはつぎの3つのルートで入手頂けます。

- ① 同窓会合唱団・東京洛友ハーモニーの事務局・メンバーによる販売
- ② 京都コンサートホールチケットカウンター
- ③ 当日会場入口前に設定した受付デスク(当日券)

上記のルートによりチケット入手は充分可能と思いますが、これ以外で入手の必要がある場合、個別にお問い合わせください。

(幹事会) 石動正和 【Tel:090-2047-7757, isurugi@pp.iij4u.or.jp】

(同窓会合唱団) 梅景憲子 【umenori-kyoto67@hb.tp1.jp】

(東京洛友ハーモニー) 織田一範・ゆかり 【yukario@d2.dion.ne.jp】

これからの京大合唱団を楽しみに

2009年度 男声指揮者 岩下 真也

今年3月をもって卒団を迎えました岩下です。パートはバリトン、2回生では合唱連盟渉外、3回生では男声指揮者を務めていました。

4年間を振り返って思うのは、本当にやりたいことを好きなようにやってきたなあということです。どんな団にしていきたいか、どんな音楽を作っていきたいかを、仲間達と考え、話し合い、実行していく。それにはたくさんの時間とエネルギーを費やしましたが、とても充実した、かけがえのない時間だったと思います。

団員としての4年間を過ごし、卒団を迎えた今、やはり京大合唱団は現団生が作っていくものだとこのことを強く思うのです。しかしその一方で、同窓会の皆様がこれまで私達の活動を陰ながら支えてくださったことは、決して忘れることはありません。

これから私達も、皆様と一緒に現団の活動を支援していければと思っています。そして現団生が作るこれからの京大合唱団を、楽しみにしていきたいと思っています。

ありがとう、京大合唱団

2009年度 混声指揮者 遠藤 隆一郎

私にとって京大合唱団にいた4年間は激動の連続だったように思う。入団当初から、幾度となく、他者を通して自分を見つめ直し、自らのアイデンティティと周囲との協調性について考えさせられた。そして、卒団した今、それらの悩みに一つの答えなど無いということを知り、同時に、臨機応変に問題を解決できる力を、自分が既に有していることに気付いた。

この4年間で、音楽性、人間性、処理能力、その他様々な面において本当に成長できたと実感している。ここまで私が成長できたのも、ひとえに京大合唱団の仲間やシステムのおかげであり、感謝してもしきれない。私に対してそうであったように、これからも京大合唱団がたくさんの団員の出会いと成長の場であり続けてくれることを願っている。

ありがとう、京大合唱団。そして、これからもみんなをよろしく。

楽しかった！！

2009年度 総務 本庄 弘樹

京大合唱団での四年間を振り返ってみると、“ただただ楽しかった”というのが素直な感想でしょうか。けれど、それは決して辛くなかったということではなく、その時時をがむしゃらに、そして仲間と一緒に悩んできたからこそでしょう。京大合唱団で過ごした時間は、すごく貴重な体験の連続でした。音楽に触れるのも、みんなと議論するのも、大勢の前で通達するのも何もかも。そんな経験の集合体が今の僕で、これからの僕となっていくのでしょう。

どんなことも、「苦しみ」が「楽しさ」へと昇華された時、はじめて本当の意味で味わう事ができ、自分のものになるのだと思います。だから、現団のみなさんも、必ず訪れるその時まで、辛くても耐えて、がむしゃらに走りきってください！きっと後悔はしませんよ。

長くなりましたが、最後に一言。“ありがとう、京大合唱団！”

団生活を終えて

2009年度 女声指揮者 成田 健一

私はいま小学校の教員を目指しております。私は'09京都フラウエンコールの指揮者として、合唱を音楽芸術ではなく、人の根と根がふれあうための一つの方法として捉え、人の存在の本当に根源であるもの、同士のふれあいを通して、人の存在の源から明るいエネルギーを湧き出させ、その心を明るいエネルギーで満たしたいという思いを込めてFWまでを過ごしました。その中で、自分が人の心にとっても関心があることに気づき、心を深く見つめていきたいと考えるようになりました。

私を叱り励ましてくださった先輩後輩方、支え一緒に歩いてくれた同回生、そしてなにより、私という人を受け容れてくれた当時のフラウエンや女声L会のみんなには、人の心はとてとても温かくて深く、とてもやわらかくて重いのだということを本当に実感させられました。私は忘れません。本当にありがとうございます。どうかいつまでも、心にともった火を大切にしてください。

現団中期演奏会

京大(男声・女声)・広大、三団ジョイントコンサート

2011年8月13日(土) 八幡市文化センター大ホール

今年の夏は、京都大学男声合唱団、京都フラウエンコール、広島大学東雲混声合唱団パストラール、の三団でジョイントコンサートを行います。男声、女声、混声の、各団単独ステージに加え、最後の三団による混声合同ステージでは、指揮者に斉田好男先生をお迎えして、壮大なオペラをお送り致します。

今年は男女一緒に演奏会を開き、男声合唱、女声合唱、混声合唱、そして合同ステージと、合唱の魅力を存分に味わえる贅沢なステージ構成となっておりますので、どうぞお楽しみに！ 皆様のご来場、心よりお待ちしております。

プログラムなど詳細は確定次第つぎに掲載します：<http://kuc.web.infoseek.co.jp/>

新旧顧問教授あいさつ

この春、京大合唱団の顧問教授が交替されました。

京大合唱団顧問着任にあたって

S62卒 奥村 英之

4月より80年の伝統をもつ京大合唱団顧問となりました。肩肘張ることなく自然体で、しかし何らかの貢献もしてゆければと思います。

大学の私の専門はエネルギー社会工学という比較的新しい分野です。環境やエネルギーを主題に据え、様々な社会問題に材料学や社会学等の視点も含めた学際的アプローチを試みています。

現合唱団は最盛期より規模は小さいですが、学生団体の魅力、音楽への情熱等は今でも大切にされているようです。今後とも魅力ある音楽活動等を通して、人との繋がり・社会貢献など楽しめる範囲で活発に行えればと思います。到らない所も多々あると思いますが、学生ともども温かく見守って頂ければ幸いです。

最後になりましたが、この度の震災では現団員の家族にも被災者がいるようです。現団も義捐金活動を行いました。被災者の方々にはお見舞い申し上げますとともに、犠牲者のご冥福を心よりお祈り致します。

奥村英之：PhD,京都大学大学院エネルギー科学研究科、
エネルギー社会・環境科学専攻、
エネルギー社会工学分野准教授

京大合唱団顧問退任にあたって

H3卒 加藤 文元

この度、4月1日付で熊本大学大学院自然科学研究科に転任となりました。それに伴い、京大合唱団の顧問を3月一杯で退任致しました。在任中は同窓会や現団の多くの方には大変なお世話になりました。有り難うございました。また現役の方々からも送別の寄せ書きなどして頂き、大変よい思い出になったと思います。

2006年度からの5年の間、顧問をさせて頂きましたが、現役の方々を含め、多くの方々のご助力に甘えて、私自身はあまり現団や同窓会のためになることは大してやれなかったと自覚させられます。80周年の記念行事の準備が着々と進む道半ばでの退任ということも残念です。

現団はこれからボックス移転などの、将来に向けて大きな影響を及ぼす課題を解決していかなければなりませんから、その意味でも多くのことを残して辞めることを申し訳なく思います。新顧問の奥村先生に今後を託しつつ、私も陰ながらご協力させて頂きたいと思います。

加藤文元：Dr.熊本大学大学院自然科学研究科理学専攻数理科学講座教授

2010年度収支報告

(会計担当幹事：百々啓子)

【一般会計】

当年度会計期間：2010年4月1日～2011年3月31日

収入	金額(円)	支出(内訳)	金額(円)	内訳金額(円)
2010年度会費	823,000	同窓会通信発行費	449,225	
		(印刷、コピー費)		196,529
名簿作成関係費(資金取崩収入)	95,847	(郵送、運送費)		227,930
		(事務用品費)		511
80周年演奏会京都コンサートホール 1/2額 (資金取崩収入)	79,170	(その他一般経費)		24,255
		同窓会通信外の郵送、運送費	2,380	
		幹事会合費	43,143	
寄付	2,000	(会場費)		12,810
		(資料費)		910
利子	1,428	(その他一般経費)		29,423
		会費郵便払込手数料	38,000	
		現団活動支援費(定演プログラム広告)	42,700	
		名簿作成関係費用	95,847	
		(名簿情報往復はがき制作費、印刷費)		18,597
		(名簿情報往復はがき郵送、運送費他)		77,250
		80周年演奏会京都コンサートホール 1/2額	79,170	
		剰余金(資金へ繰入)	250,980	
合計	1,001,445	合計	1,001,445	

【資金収支】

摘要	金額(円)	内訳	内訳金額(円)
2009年度資金残高	4,646,698		
前受金		2009年度以前入金、2011年度以降会費	753,000
会費収入		2009年度以前入金、2010年度会費.....①	459,000
繰越金		2009年度以前入金、過年度会費を含む	3,434,698
2010年度入金会費	1,067,000		
前受金		2011年度以降会費	481,000
会費収入		2010年度会費.....②	364,000
過年度分		過年度会費	222,000
一般会計剰余金	250,980		
収入合計	5,964,678		
会費支出	823,000	2010年度分会費一般会計へ.....①+②	
取崩支出	175,017	名簿作成費用として一般会計へ	
		(名簿情報往復はがき制作費、印刷費)	18,597
		(名簿情報往復はがき郵送、運送費他)	77,250
		80周年演奏会京都コンサートホール 1/2額	79,170
支出合計	998,017		
* 残高	4,966,661		

* 残高(4,966,661円)の内訳

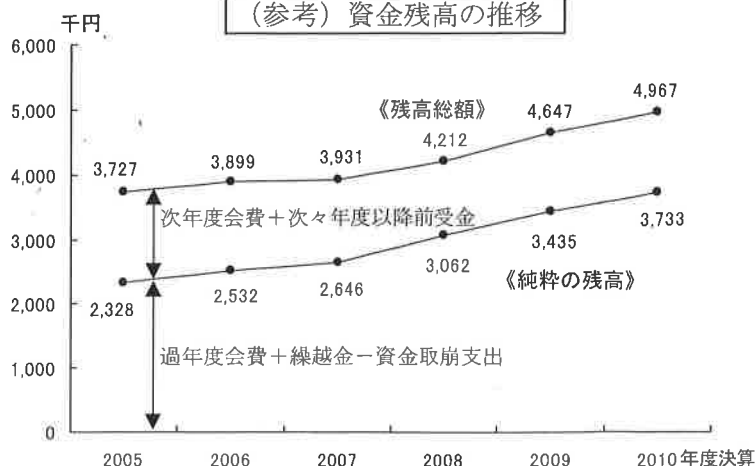
- ・前受金(2011年度会費) 442,000円
- ・前受金(2012年度以降会費) 792,000円
- ・純粹の資金残高 3,732,661円

◆2010年度決算レビュー

- ・80周年記念事業の関係で既発生の費用(175千円)は資金を取崩して、これに充当した。資金収支の支出欄をご参照。
- ・一般会計の収支費目には目立った変化はなく、昨年度比、会費収入が微増したことに相応して剰余金も微増し、計251千円を資金に繰り入れた。
- ・上表の資金収支の通り、資金残高は約500万円、前受金を除く純粹の資金残高は約370万円となっている。

(代表幹事/会計担当幹事)

(参考) 資金残高の推移



会計監査を実施した結果、会計帳簿の処理は適切であり、上記報告書は適正に作成されていることを報告いたします。

平成23年5月20日 会計監査 南平哲郎

新任幹事の自己紹介



望月勝房(S43卒)

この度、幹事会の幹事に就任した昭和43年卒の望月勝房です。企業退職後、既にアルマで活躍していた学生時代の同時代の皆様から誘われアルマに入団し、以来アルマに加えて、京大同窓会合唱団、アンサンブル・ヴォーチェと合わせて3つの多くのOB・OGが活躍中の合唱団に入団出来、これらの合唱団では学生時代に一緒だった多くの先輩、同期、後輩に恵まれ、充実した日々を送って参りました。

学生時代から今日まで、京大合唱団から計りしれない恩恵を受けていると日々感謝しております。アルマに入団した際に非常に印象的だったことは、当時のアルマで3人の大正15年生まれの皆様が毎週の水曜日の夜の練習に励んで来ておられたことです。合唱の素晴らしさというのは、10代の若者から80代のご高齢者まで一緒のステージで、同じ曲を、一緒に歌えるということに尽きるのではないのでしょうか。京大合唱団の現役の皆様、OB、OGの皆様はそういう素晴らしい環境に恵まれているということをお伝えして行きたいと思っております。



山下千之(S44卒)

1965年(S40)入学同期は、団の分裂で4人に減り、うちマネージャーは私1人。京大合唱団を私達の世代で潰すことはできないと必死でした。下宿で、物の見方・考え方、民主主義等々人生の指針を与えてくれた先輩。仕事とは(現状把握・分析・立案・計画・実行・反省)と教えてくれた先輩。議論の中で物事を根本から自分の頭で考え抜くことを学ばせてくれた極めて優秀で尊敬すべき後輩。確かに私個人は残念ながら満足に合唱を楽しむことができませんでしたが、京大合唱団の仲間と過ごした4年間のお陰で、どんな危機に臨んでも学んだことを応用すれば創造的に乗り越えることができ、どんな場面に遭遇しても「でも世の中にはあんなすばらしい人達もいる」と絶望することなく筋を通して生きることができました。

京大合唱団こそが「私の大学」でした。現在、リタイア後も京大合唱団の縁で歌い続けることができる幸せを噛み締めています。この「絆」を繋いでゆく一助になればと力を尽くす所存ですので、どうかよろしくお願ひ致します。



石動敬子(S48卒)

浅い春が好きだった。死んだ父の口癖の。そんな季節の訪れに(父のゐる庭)、今年も帰省するはずだった。が、愚図ぐずしているうちに津波に吞まれ、放射能の降る被災地になってしまった。訪ねようにもあぶくま急行の復旧が未だに叶わない。それでも、だから同窓会合唱団に通う。レパは素敵だ。しみじみし、昂揚し、悔恨に揺れる。しかし、持ち込まれては初見で歌われる愛曲が又暖かい。そんな中に「くちなし」があった。「ひたすらに焦がれ生きよ」と。これも亡き父の言葉だが、うんうん、と頷き涙ぐんでしまう。

立場は既に親であり、祖父母だったりするが、大学紛争のあの頃も歌い続けた私たちだ。大震災の今、自粛などでなく、叶うなら集まり、優しくハモリ、元気になりたい。京大合唱団は、ふともう一つの“実家”のようだと思う。

蕨の芽や今も学生集会所 敬子



笠原 浩(S57卒)

奴が歩いた後にはペンペン草も生えぬと言われた元バリトンリーダー竹村学氏のご令室ふーちゃんを継いで、この度幹事をさせて頂くことになりました昭和57年卒団の笠原浩と申します。

学生時代には「こうもり」と称賛されたほどの博愛主義者でしたので、幹事としても分け隔てなく愛を降りしきらせたいと思っております…そんなもんいらんて？

何はともあれよろしくお願ひします。今年は所属中の団で大好きな「水のいのち」を歌っています。

我が家と周辺の3.11の様子

S31年卒 上田 源三
(茨城県銚田市)

その時たまたま傍に在った食器棚にしがみ付いて居ました。吊革の無いおんぼろバスでデコボコ道を全力疾走しているような感じでした。棚のグラスや茶碗、本棚の書物、卓上のテレビや電話、机上のパソコンやプリンタ、壁掛けの絵画や写真などすべてが床に落ちて散乱し、足の踏み場も無くなりました。「何故すぐに外へ飛び出さなかったのか？」と後で気が付きましたが、そのときは手も足も硬直して動きませんでした。これが震度6の実況です。4日ほど停電と断水が続き、毎朝、村の配水場へ行き2～3時間の待ち行列をして20リッタの貴重な水をもらって来ました。当初は数分間隔の余震が続き疲れしました。

我が家は丘の上なので、津波は到達しませんでした。棟瓦が崩れた家が近所に多数あります。5mの堤防を越えて丘のふもとまで到達した津波で、海浜の多くの家が破壊されました。砂浜には漁船が座礁し、お寺の観音像は傾き、墓石は倒れ、北浦を渡る鹿行大橋も崩落しました。

この先さらに原発がどうなるか心配です。しかし津波に全てを奪われた被災者の方々の悲痛をしのび、復興に協力したいと思っています。



東日本 大震災

会員の生の声

大震災を振り返って

S50年卒 坂口 春典
(茨城県日立市)

大震災から月日がたって、すっかり日常に戻っている。原発の不気味な緊張状態の継続を除いては…。

当日、私は出張で東京にいた。何とか泊まる所を探したものの茨城県日立市にある家へ帰るには足がない。金、土と泊まって何とかJR宇都宮線、弟のクルマと乗り継ぎ、迂回ルートで日曜の真夜中に家へたどり着いた。

その間、稀につながった電話で家人から頼まれた水、電池、食料を探しながら。東京を出るとき、周囲はまったく平和でのどかな春の日差しであり、町には何事もなかったかのような時間が流れていた。TVのニュースにはなかったが茨城の海岸沿いの町は津波でところどころやられており、道沿いに水に浸かった家財道具が積まれていた。

家に着くと停電、断水でかつ地震で窓ガラスが一部割れており非常に寒い。ストーブはファンヒーターばかりで灯油は入っていても電気が来ないと点火しない。その後、断水が長く続き山奥への湧き水汲みなど部分的な非日常はあったがこれらは時が解決していった。しかし、原発は違う。ただひたすら、そっと寝た子を起こさないよう冷えていくことを願っている。

東日本大震災一浦安の被害

S41年卒 石田 靖彦
(千葉県浦安市)

同窓会のためだけの依頼で私の住む千葉県浦安市の被害状況を報告します。埋立地が多いため、震度5強で市内各所に液状化、地面の沈下やうねりが生じました。基礎の深い高層の建物は大丈夫でしたが、戸建ての民家などで、修復に多額な費用がかかる被害を受けたところもあったのは大変気の毒です。市内100カ所以上で上下水道管が破損し、全面復旧にはひと月以上かかりました。私のところは一週間の断水ですみましたが、水道の有り難さを痛感しました。道路や地面の凸凹が治るまでにはまだ相当な期間がかかりそうです。

しかしそれより、福島原発の動向によっては、今まで以上に多量の放射性物質がばらまかれる可能性がまだ残っているのは要注意です。今回の災害は確かに未曾有の天災ではありましたが、同時に人災でもあります。つかの間の豊かさのために人間の管理能力を超えた巨大かつ危険な技術に過剰に依存するだけでなく、その危険を口に出す者さえ排斥する、未熟な民主主義の社会体質があらためて浮き彫りになりました。

支え合う幸せ

S63年卒 小桧山 奈津江
(福島県郡山市)

あの東日本大震災から一か月が過ぎた平成23年4月14日。私はこの原稿を東京へ向かう新幹線車中で書いています。一昨日東北新幹線が那須塩原から福島まで開通し、ようやく自宅ライフラインも復旧。こうやって車窓から外を見ますと雪を被った那須高原の山々が眩しく光り、まるで何事もなかったかのように雄々しくそびえ立っています。本当にあの日以来、私達は全てが変わってしまいました。

私は生かされ、まだこの世に生まれた使命が終わらないのだと思い知りました。この震災により、今までの人生を振り返り、多くの方への感謝の気持ちが湧き出てきたのは不思議です。意外にも前より強く明るく逞しくなっているのです。日々有り難い、という気持ちと有難うという気持ちしか残らず恨み辛みや恐怖も心配もこの大震災で私の身体から抜けてしまったよう。咄嗟のときに人はどう動くのか？ どういった心を使うのか？ 本当に私達は試されているのだと思います。互いに支え合う、喜びを分かち合う仲間がいる幸せ。人々と和してこれから益々世のため人のために、力を尽くしていきたい。どうかこれからも歌を通じて皆様私達をお支え下さい。